

DX-Eさが

Vol.3
2023.5.24

佐賀県英語デジタル教材 SAGA e スタディの実践事例の紹介①

佐賀県英語デジタル教材 SAGA e スタディを効果的に活用されている**有明東小学校の小学校英語専科指導教員 今村公紀先生**に、昨年度の取組についてのインタビューの内容を紹介します。ぜひ、各学校での取組の参考にしてください。

有明東小学校 小学校英語専科指導教員 今村公紀先生のインタビューより



初期設定 (ID、パスワード保存など) は、どのような手順でされましたか。

まず、どのように進めていくかを、教頭先生やICT支援員の方と相談しました。

【ログイン画面】

学習者用の登録はICT支援員の方にしてもらい、その後、学級の時間、朝の会の時間を使って、子供達がパスワードとIDの保存を行いました。

ホームページを「お気に入り」に入れておき、授業では「ログインする」を押すだけで、すぐにログインができるようにしました。



今村先生

【ホームページ】

SAGA e スタディ

チャレンジしたい問題を選択しよう [CAN-DOリストはこちら](#)

学習したいテスト名をクリックして学習を始めます

英語チャレンジ (1)

小学校中学年レベル

1回目

2回目



もじとおと



きく1



きく2



はなす

📄 今までの結果

📖 さらに学びを深めよう

📖 解答集

BBC Learning English Level Check

BBC Learning English



すぐにログインができるようにしておくというアイデアは、いいですね。
具体的に、どんな場面で活用されましたか。

初回は、授業の中で子供達と一緒にログインして、1時間かけて丁寧に指導しました。

昨年度は、パフォーマンステストの待ち時間に、アルファベットを書く練習とSAGA e スタディを自分のペースで取り組めるようにしました。

また、6年生の音の指導に合わせて、補充問題として取り組んだこともありました。

SAGA e スタディのどの問題をどのような順番で進めるのかを、黒板に書いて示し、問題を進めるごとに、子供達が自分の名前のマグネットシートを動かしていくようにしました。

【問題画面の一部】



今村先生



SAGA e スタディに取り組んでいる時の子供達の様子はどうでしたか。

子供達は、黙々と取り組んでいました。分からないところは質問し、問題に熱心に取り組む姿が見られました。子供達の様子を見ていると、「聞く」から始めると取り組みやすいようです。まずは、やってみるということが大切だと思います。



今村先生

今村先生は、授業のすきま時間や補充的な学習の中で、個別最適な学びを進めていく一つのツールとして、SAGA e スタディを無理の無い範囲内で、効果的に活用されています。

今後もこの通信を通して、効果的な活用実践を発信していきますので、ぜひ各学校の取組の参考としてご活用ください。

SAGA e スタディは申し込み不要で、いつからでも使用できます。アカウントについては、各市町教育委員会へお問い合わせください。

まだ、アカウントを見童生徒に配布されていない学校は、必ず見童生徒に配布をされますよう、よろしくお願いいたします。